

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北4東6周辺地区市街地再開発事業(第一工区)施設建築物等 中央体育館	階数	地上4F
建設地	札幌市中央区北4条東5丁目5-30、北4条東6丁目373-1の内	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	527 人
気候区分	2地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年2月17日
敷地面積	15,060 m ²	作成者	
建築面積	6,424 m ²	確認日	2017年2月17日
延床面積	14,489 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5
Q1 室内環境 4
Q3 室外環境(敷地内) 3
LR1 エネルギー 3
LR2 資源・マテリアル 4
LR3 敷地外環境 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項			
総合 ・札幌市のスポーツ文化の拠点として、市民が楽しみ、親しみを永く感じられる体育館。 ・スポーツを通じて、人づくり・街づくりに貢献する施設。		A 省エネルギー ・外壁の断熱性を高くすることによって冷暖房空調負荷低減による電力の削減。 ・窓は適正な大きさとし、Low-e複層ガラスの採用により遮熱することで空調負荷を削減。 ・コージェネレーションシステムの採用により、省エネルギー化を図った。 ・人感センサーや調光可能な照明器具の採用による使用電力の削減。 ・LED照明による電力負荷の削減。 ・全熱交換機を用い、排熱を利用して電力消費量を削減。	
B 省資源等 ・外装はコンクリート打放し仕上げとし、外装材を省き、省資源に配慮した。 ・共用廊下の内装仕上げを極力省き、コンクリート打放し仕上げを多用した。 ・雨水や井水の利用によって上水の使用量を削減。	C 緑化 ・植樹間隔や樹種を揃えた沿道の並木により再開発区域全体に緑のネットワークを形成。 ・敷地内通路脇や広場の緑化につとめ、緑化率26%を確保した。 ・様々な種類の植物を植え、季節の変化を楽しめる計画とした。	D 雪処理 ・陸屋根とし、雪を地上に落下しない計画とし、建物際を安全に通行できる計画とした。 ・市民一般利用者が利用する主出入口前や敷地内車路はロードヒーティングを敷設。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される